

原ゆうじ市政報告 VOL.28

TEL&FAX047(367)6754 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログ(原ゆうじの日記)も好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、
立教高校、立教大学理学部化学科卒。
長瀬産業(商社)勤務を経て家業で
あるベーカリー店を継ぐ
平成22年、市議初当選(現在1期目)
妻、4子(3男1女)の6人家族

松戸市議会議員 原ゆうじの市政最新レポート！ 松戸の未来へ全力投球！！

北松戸保育所、現地建替えへ！！

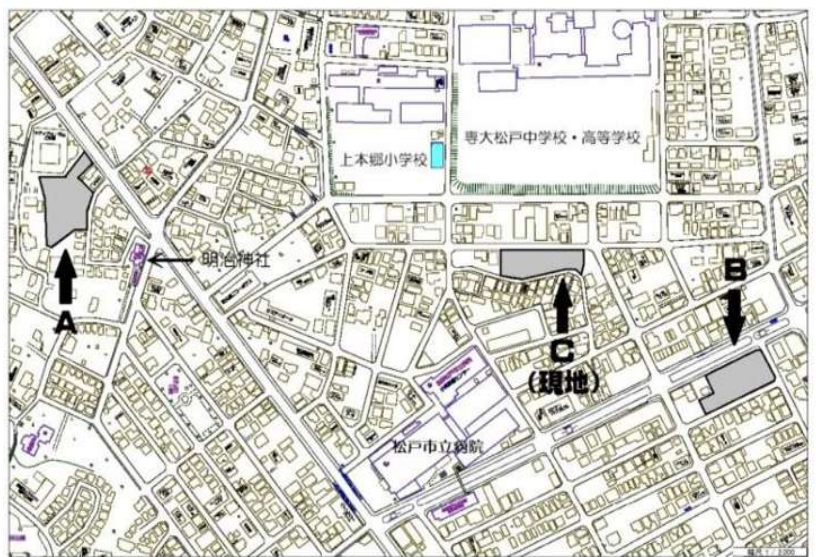
保育所移転問題、9月議会でようやく決着！

市立病院第5駐車場に一旦移転、その間(約2年間)に現地で建替え

(保育所移転候補地MAP)

北松戸保育所は築40年以上経過し、老朽化に加え、耐震性にも問題があることが判明しています。こうしたことから市は、明治神社そばの駅から徒歩5分の場所(A:地図参照)に移転を決断、移転予算案を3月議会に提案しました。

しかし、主に大会派所属議員により、「移転候補地にかかる費用が不透明」との理由から予算を削除、つまり北松戸保育所移転案を否決してしまいました。市はその後の6月議会に、移転候補地(竹林部分)にかかる借地料を30年間無償とする新たな予算案を再度、議会に提案、今度こそと思われましたが、大会派所属の議員から市立病院第5駐車場(B:地図、運動公園隣接)に仮設保育所を建設、一旦移設し、その間に、現保育所を現地(C:地図参照)で建て替えるという代案(現地建替え案)が示され、再び市の移転案に反対、またもや移転の予算が削除されてしまいました。



待ったなしの保育所耐震性不足、市は苦渋の決断！

しかし、そもそも仮設保育所の移転先とした場所、市立病院第5駐車場について市は「平日は病院用、週末は運動公園駐車場として利用しており稼働率も高い。政策判断として移転候補地からは除外した。」との見解が示されていました。ですので、この場所を利用する案は無いと思っていましたが、市は、「保育所の耐震性不足には待ったなし！子供たちの安全確保が第一！」との考えから、**決定を第一優先**として方向転換。今回の現地建替え案を9月議会に追加議案としてなんと最終日に議会提案する異例の決断をしました。

原ゆうじの考え 仮にこの第5駐車場が使えるのであれば、仮設保育所による仮移転ではなく直接この場所に移転をする「ダイレクト移転」が望ましいと思います。それは、現地建替え案では、仮移転のための費用(仮設保育所の費用:2年間のリース代)が1億4千万円必要ですが、ダイレクト移転ではこの費用は不要。また、バス停(北松戸駅行)が目前にあるため、現地よりはこちらの方が利便性も高いと思われるからです。

原ゆうじも苦渋の決断＝早期決定、早期移転することを最優先に！

しかし、もはやこれ以上、保育所にお子さんを預ける親御さんたちに保育所の先行きで不安を与えるわけにはいきません。また、わずか4か月ですが、仮設のほうが本保育所建設よりも早いこともあり苦渋の決断でしたが、早期決定を最優先に今回の現地建替え案に賛成しました。議会でもこの案は採決の結果、承認され、遅きに失しましたが保育所移転問題は一応の決着を見ることとなりました。また、現地での保育所建設については①保護者などの保育所関係者の意見を聞くこと②送迎時の駐車場(少なくとも5台程度)を敷地内に確保する事を要望させていただきました。

～原ゆうじ市政報告会のお知らせ～ 問い合わせTEL368-1705

10月18日(土)PM4時～5時 北松戸会館(ハローマート裏)

PM5時～後援会主催懇親会あり 皆様のお越しをお待ちしております！！

お待たせ
しました！

千駄堀新市立病院建設

最優先交渉者決定！清水建設！

プロポーザル審査決定！最優先交渉者は清水建設！優先交渉者：竹中工務店JV！

昨年末、入札不調となり暗礁に乗り上げてしまった「千駄堀新病院建設」ですが、その後、上限価格を設けない「見積もり方式」によるプロポーザルでの事業者募集を行い、結果、3社が応募。その審査が9月15日に行われ、最優先交渉者に清水建設（株）、次点の優先交渉者に竹中工務店を中心とした企業体に決定されました。

気になる建設価格はまだ非公開！ しかし最も気になるその価格はまだ公開されていません。市と最優先交渉者に決定した清水建設とで今後、価格交渉が行われ、合意が出来たら議会へ予算認定の議案が提案される予定となっています。**いったいいくらとなるのか？** 本当に気になるところです。今の病院経営は厳しく、20億円を超える税金を投入している状況です。そうした中、その価格で病院経営が成り立つのか？建設費の市負担がどの程度となるのか？検証が必要です。また、医師、看護師不足の中、そもそも600床開けるのか？さらには民間新病院建設ラッシュのあった松戸で、市立病院の経営に影響はないのか？といった懸念もあります。

その価格次第では、まだまだ、**病院建設決定**とはいかないかもしれません。

前病院移転候補地：旧紙敷66街区、売却へ！

川井前市長時代、市立病院移転候補地に土地開発公社で購入した旧紙敷66街区（11000㎡、東松戸駅徒歩3分）ですが、2段階による入札が行われ（株）長谷工コーポレーションを中心とする企業体に、25億2千万円で落札されました。

平成21年3月の購入金額は約22億円、これまでの借入金利で約1億8千万円を加えても、結果、プラスとなり損は出さずに済みました。今後、12月議会で正式に承認され売却される見込みです。

これにより、今後、この地に市立病院が移転することはないということになりました。

原ゆうじ提案実現！！防犯灯の全面LED化へ！

悲願達成！残り約31300灯防犯灯全面LED化へ！町会への説明始まる！

これまでに何度も一般質問の場で、市に提案をしていました防犯灯のリース方式による全面LED化ですが、ようやく市の具体的な推進方針が決まり、9月から防犯灯の所有者である町会、自治会に対する市の説明会が始まりました。

最後まで、原ゆうじと意見が対立していましたLED灯のリース料の町会、自治会負担について、ようやくこちらも提案が認められました。当初、市はリース料（1灯当たり年3000円予想）の2割を町会自治会に、市が残り8割を負担する考えでしたが、「これでは全面LED化進まない。LED灯の数がまとまらなければ入札によるスケールメリットが見込めなくなる。町会自治会のリース料負担をゼロにすべき！」との私の提案をようやく認めてもらい**市10割負担**で進めることとなりました。広島県府中市、大阪府などの視察報告を活すことが出来、うれしく思っています。

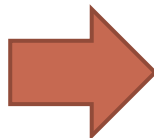
市内防犯灯の現況

*今の市のLED化方針

年8千万円の予算を使い10年計画で全面LED化を目指す

総数：約36000灯 コスト総額：
内LED灯約4700灯（LED化率13%）
年間電気代：約1.6億円
（LED化の進捗とともに減少へ）
年修繕費補助額：約3300万円
LED灯設置補助：年約8000万円×10年間

全面LED化で



リース方式による全面LED化

*LED化未実施防犯灯31300灯をリース&入札方式で一気にLED化

約36000灯LED化（100%）
されると、
予想年間電気代：約9000万円
年間修繕費補助額：330万円
10年で**約7億円**の削減見込